

特長

- ① JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料 上塗り塗料3級に合格しています。
- ② 耐候性・耐水性にすぐれています。
- ③ 環境にやさしい弱溶剤タイプです。
- ④ 塗料用シンナー Aで希釈できるため、塗装作業性にすぐれます。

用途

建築物の鉄鋼面・亜鉛めっき鋼面で、高耐候性を求められる個所の上塗り。

塗装仕様

公共建築改修工事標準仕様書 鉄鋼面耐候性塗料塗り

下地調整

工程	種別			塗料 その他	面の処置
	RA種	RB種	RC種		
1 既存塗膜の除去	○	—	—	—	ディスクサンダー、スクレーパーなどにより、塗膜及び錆などを全面除去する。
	—	○	—	—	ディスクサンダー、スクレーパーなどにより、劣化しづらい弱な部分及び錆などを除去し、活膜は残す。
2 汚れ、付着物除去	○	○	○	—	素地を傷付けないようにワイヤブラシなどにより、除去する。
3 油類除去	○	○	—	—	溶剤ぶき
4 研磨紙ざり	○	○	—	研磨紙P120～220	全面を平らに研磨する。
	—	—	○	研磨紙P240～320	

(注) 新規鉄鋼面に塗装を行う場合は、RA種とし、工程1を省略する

塗装工程

工程※1	種別			製品名(規格名称・規格番号・等級)	塗付け量 (kg/m ² /回)	塗り回数	塗り重ね時間 (23℃)	シンナー名(希釈率)
	A種	B種	C種					
下地調整	○	—	—	RA種				
	—	○	—	RB種				
	—	—	○	RC種				
1 下塗り (1回目)	○	—	—	ニッペジンキー 8000メタルグレー (JIS K 5552 ジンクリッチプライマー 2種)	0.14	1	16時間以上 6ヶ月以内	ニッペジンキー 8500シンナー はけ・ローラー:0～5% エアレススプレー:5～15%
	—	○	○	ハイボン20ファイブ (JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー)				16時間以上 10日以内
2 下塗り (2回目)	○	—	—	ハイボン30マッシュアッププライマー K (JIS K 5551 構造物用さび止めペイント A種)	0.14	1	16時間以上 10日以内	ハイボンエポキシシンナー はけ・ローラー:0～5% エアレススプレー:0～10%
	—	○	—	ハイボン20ファイブ (JASS 18 M-109 変性エポキシ樹脂プライマー)				16時間以上 10日以内
3 下塗り (3回目)	○	—	—	ハイボン30マッシュアッププライマー K (JIS K 5551 構造物用さび止めペイント A種)	0.14	1	16時間以上 10日以内	ハイボンエポキシシンナー はけ・ローラー:0～5% エアレススプレー:0～10%
4 研磨紙ざり	○	○	○	研磨紙P120～220				
5 中塗り ※2	○	○	○	ハイボン30ファイブ中塗り (JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料中塗り塗料)	0.14	1	3時間以上 10日以内	塗料用シンナー A はけ・ローラー:0～10% エアレススプレー:0～5%
6 上塗り ※3	○	○	○	ハイボン50ファイブ (JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料上塗り塗料 3級)	0.10	1	—	はけ・ローラー・エアレススプレー:0～10% 塗料用シンナー A

※1 塗り替えにおける各工程の実施については、公共建築改修工事標準仕様書7章「塗装改修工事」内8節「耐候性塗料塗り(DP)」の7.8.2「鉄鋼面耐候性塗料塗り」に基づいてください。

※2 中塗りのJIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料中塗り塗料には、ファイブ中塗りDPやハイボン30ファイブ中塗り塗料もご使用できます。

※3 上塗りのJIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料上塗り塗料3級にはニッペファイブウレタンU100も使用できます。詳細は各製品カタログや製品使用説明書などをご参照ください。
また中塗りとの組み合わせにつきましてもお問合せください。

★ 上記の各数値は、すべて標準のものです。被塗物の形状、素地の状態、気象条件、施工条件によりそれぞれ多少の幅を生じることがあります。

★ 塗料の塗り重ねは所定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。(縮み、割れ、乾燥不良、付着不良などが起こります。)

容量・色相

ハイボン50ファイブ：16kgセット(塗料液：硬化剤=14kg：2kg)

4kgセット(塗料液：硬化剤=3.5kg：0.5kg)

色相：ホワイトおよび各色(つや有り・7分つや有り※・5分つや有り※・3分つや有り※)

※つや調整品につきましては、JIS非表示となります。

ハイポン50ファイブ

DP仕様

性能 (JIS K 5659 鋼構造物用耐候性塗料 上塗り塗料 3級)

試験項目	規格	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。	合格
表面乾燥性	表面乾燥する。	合格
塗膜の外観	正常である。	合格
ポットライフ	規定時間後、使用できる。	合格
隠ぺい率 (%)	白・淡彩は90以上、鮮明な赤及び黄は50以上、その他の色は80以上	合格
鏡面光沢度 (60度)	70以上	合格
耐屈曲性	折曲げに耐える。	合格
耐おもり落下性 (デュボン式)	塗膜に割れ及びはがれが生じない。	合格
層間付着性II	異常がない。	合格
耐アルカリ性	飽和水酸化カルシウム溶液に168時間浸したとき塗膜に膨れ・割れ・はがれ・穴を認めず、色の変化の程度が原状試験片と比べ大きくないとき「異常がない」とする。	合格
耐酸性	5g/L 硫酸水溶液に168時間浸漬したとき塗膜に膨れ・割れ・はがれ・穴を認めず、原状試験片と比べ色の変化の程度が大きくないとき「異常がない」とする。	合格
耐湿潤冷熱繰返し性	塗膜に膨れ・割れ・はがれを認めず、光沢保持率が80%以上で、「湿潤冷熱繰返しに耐える」とする。	合格
混合塗料中の過熱残分 (%)	白・淡彩は50以上、その他の色は40以上	67
促進耐候性	照射時間500時間の促進耐候性試験に耐える。	合格
屋外暴露耐候性	光沢保持率が30%以上で白亜化の等級が3、2、1又は0	合格

※上記の性能は、ホワイトおよび淡彩色によるものです。

使用方法

混合	2液形のため「塗料液/硬化剤=7/1(重量比)」により混合し、十分にかくはんしてください。
ポットライフ	6時間(23℃)
希釈剤	塗料用シンナーA

使用上のご注意

1. さびは、ワイヤブラシ・サンドペーパーなどで入念に除去し、膨れ・割れの発生にも注意し、十分なクレンを行ってください。
2. つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
3. つや調整品では、塗り継ぎや補修つやむらが出やすいため、面を切って通して塗装してください。
4. 過剰希釈をすべしと本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈率をまもってください。
5. つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間 などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
6. つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
7. 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願いします。
8. 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダシ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
9. 異なる色相を塗り重ねる場合(例：1回目の上塗りを塗装してから、別な色相でラインや帯などを塗装する場合など)2回目の上塗りが1回目の上塗りを覆ってラインや帯などが変色(ブリード)により、着色がありますのでご注意ください。
10. 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
11. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
12. 硬化剤は湿気や水で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
13. 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
14. 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高温湿、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。塗膜の影響を受けおそれがある場合は、塗装を避けてください。
15. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、洗浄面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
16. 内部塗替えにおいて旧塗膜がSOP、FEなどの油性系の場合、研磨すりを行ってください。下地処理が不十分な場合は、塗膜は離れの原因となります。
17. 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を侵し溶剤膨れや縮みなどの異状が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認ください。塗装仕様をご検討ください。
18. 素地の乾燥は十分に行ってください。
19. カウンター、陳列棚、ベンチ、床面などものが常時置かれるような場所には跡がつくおそれがありますので塗装しないでください。
20. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
21. 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、

- 仕上がりや作業性が低下することがあります。
22. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
23. 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
24. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
25. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
26. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がりの不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
27. 上塗りに付いたイエロー、レッド、ブルー、グリーン系色相を使用する場合は、共色を下塗りしてから塗装してください。なお、特に付いた色相では、共色を下塗りしても標準の使用量、塗装回数で隠ぺい出来ない場合があります。事前に試験施工塗り板などでご確認ください。
28. 濃彩色や付いた原色の塗装、塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類など接触する可能性のある部位には使用しないでください。また、状況により常時接触するような箇所に使用する場合は、フラインジシロコンプレックスクリヤーを上塗りに塗装してください。クリヤーのローラー及び刷毛塗装で、下塗り塗膜の再溶解や塗膜が剥離する場合は、スプレー塗装をしてください。
29. 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず替えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
30. はけ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合は、使用量、表面肌が異なるため若干の色相差がでますので、はけ塗りの部分は希釈を少なくして塗装してください。
31. ローラー塗りの場合、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げてください。ローラー目により、色相や仕上げの感触が異なる場合があります。
32. 塗装方法により色相が多少変化することがありますので、ローラー塗りはできる限り入り間まで入れてください。
33. 汚れ、さびなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず替えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
34. はけなどの塗装用具の洗いは、ラッカーシンナーを使用してください。
35. ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するが、専用で使ってください。
36. 可塑剤が各々含まれる塩化ビニル腐敗、塩化ビニル、プラスチック、ゴム、ウレタン、合成皮革、塩化ビニルなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようご注意ください。
37. 塗料は内容物均一になるようによくかき混ぜてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて年産の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
38. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
39. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。

■製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

安全衛生上の注意事項 (ハイポン50ファイブ ホワイト 塗料液)

1. 本来の用途以外に使用しないでください。
2. 使用前に取扱説明書を手読してください。
3. すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないでください。
4. 熱/火花/炎/高温のものによる着火源から遠ざけてください。— 禁煙です。
5. 容器を密閉しておいてください。
6. 容器を接地/アースをとってください。
7. 防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
8. 火花を発生させない工具を使用してください。
9. 静電気放電に対する予防措置を講じてください。
10. 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないでください。
11. 取扱後は、手洗いおよびうがいを行ってください。
12. この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないでください。
13. 必要なとき以外は、環境への放出を避けてください。
14. 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用してください。
15. 気分が悪いときは、医師の診断/手当を受けてください。
16. 緊急の特別な処置が必要な場合は実施してください。
17. 口をすすいでください。
18. 容器からこぼれたときには、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
19. 漏出物を回収してください。
20. 皮膚または髪に付いた場合、直ちに、汚染された衣類をすべて脱いでください。皮膚を流水がシャワーで洗ってください。
21. 吸入した場合：気分が悪いときは、医師に連絡してください。
22. 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
23. 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。その後洗浄を続けてください。
24. 皮膚に露出またはかぶる感がある場合は、医師の診断/手当を受けてください。
25. 皮膚刺激を受けた場合は、医師の診断/手当を受けてください。
26. 目の刺激が疑われる場合は、医師の診断/手当を受けてください。
27. 汚染された衣類を脱いで、再使用する場合は洗濯してください。
28. 火災の場合：消火に適切な手段を使用してください。
29. 施設を保管してください。
30. 換気の良い場所で保管してください。涼しいところにおいてください。
31. 直射日光や水漏れは厳禁です。
32. 容器はつり上げないでください。やむを得ずつり上げる際には、適切なつり具で、垂直に持ち上げ、落下に十分注意してください。(偏荷重になると取っ手が外れ、落下事故の危険があります。)
33. 塗料などの缶の積み重ねは段までとってください。
34. 日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上(スプレー缶の場合は40℃以上)の温度にばく露しないでください。
35. 内容物/容器を固く/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
36. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄するときには、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込めば、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。

*上記の内容は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。

■製品安全に関する詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険		危険有害性情報	引火性液体及び蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/遺伝性疾患のおそれ/発がんのおそれ/生殖能又は胎児への悪影響のおそれ/臓器の障害のおそれ(単回ばく露)/長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ/水生生物に毒性/長期継続的影響によって水生生物に毒性
----	--	---------	--

日本ペイント株式会社

東日本※：営業センター ☎03-5479-7509

中部：中部支店 ☎052-461-9758

近畿：近畿支店 ☎06-6455-9521

四国：四国支店 ☎0877-56-2346

中国：中国支店 ☎082-281-2180

九州：九州支店 ☎092-751-9861

※北海道/東北/関東/北関東甲信越

<http://www.nipponpaint.co.jp/>

●本カタログの内容については、予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。

●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

●©Copyright 2018 NIPPON PAINT Co.,Ltd. All rights reserved.

■詳しい情報はホームページで

日本ペイント 建物 検索

<http://www.nipponpaint.co.jp/biz1/building.html>

カタログ

NP-V124

MX180202T

2018年2月現在

●このカタログは再生紙を使用しています。